

## 香川の自然ガイドブック2 「寒霞溪の自然」



### 【ご挨拶から】

奇岩絶壁の溪谷美で知られる寒霞溪は、日本書紀にも記述が残る歴史ある景勝地で、元々は、鉤懸山、神懸山などと呼ばれていましたが、明治初期の儒者藤澤南岳により、「寒霞溪」と命名されました。

その後、多くの地元の方々の尽力により景勝が守り継がれていく中で、その高い観賞上の価値が認められ、大正12年に国の「名勝」として指定された景勝地として、また、昭和9年に日本最初の国立公園に指定された「瀬戸内海国立公園」の代表的な景勝地として、まさに、小豆島が世界に誇る絶景は、日本三大溪谷美、日本三大奇勝とたたえられています。

また、寒霞溪の多様で、特徴のある自然環境は、ここでしか見ることのできない生き物を育むなど、瀬戸内の自然史を語る上で重要な場所としても知られています。

みなさんが、このような寒霞溪の自然に触れ合うときの一助となるよう、このガイドブックを作成しました。

さあ、ガイドブックを片手に、寒霞溪の自然を満喫してください。

(平成27年10年、発行：香川県みどり保全課

企画・編集： みんなでつくる自然史博物館・香川)

(7101255557)